

科目 40

科目名	観光ビジネス特論 Tourism Management		選択	2 単位
学期・曜日・時限	秋・土・集中※	-	-	-
担当教員名	高井 典子	e-mail		
	赤堀 浩一郎			
<p><講義の概要と目的></p> <p>本科目は 21 世紀のリーディング産業と呼ばれる観光産業を取り上げる。現在、我が国がすすめる観光立国政策における柱は訪日観光（インバウンド）の推進である。インバウンドは順調に量的拡大を続ける一方、観光立国実現のためには多様化・高度化する旅行者ニーズを日本各地の観光関連事業者が取り込み、インバウンドの経済効果を地方や中小規模事業者にまで行き渡らせることが必要である。また、従来日本人による国内旅行および海外旅行（アウトバウンド）を主要なビジネスとしてきた日本の観光産業がインバウンドに対応するためには自らの変革が求められている。政府や自治体にとってもインバウンドの受け入れ態勢をいかに整備できるかが課題である。</p> <p>そこで講義では、現在の観光産業の諸特徴と課題を整理したうえで、インバウンドに関わる各種のケーススタディを通して、観光立国を実現するための実践的手法を考察する。</p> <p><到達目標></p> <p>受講者は本科目を履修し、必要な学習課題に取り組むことにより、以下の<学習到達目標>を達成することが期待される：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 観光産業および観光商品の特徴と課題を理解する。 2. 観光が国や地域社会にもたらす各種の影響を踏まえたうえで、地域でインバウンドに取り組む際に重要となる考え方について理解し、その実践過程における課題を認識し、解決のためのアプローチを考えることができる。 3. インバウンド観光の商品づくりの特徴と課題を理解し、自ら提案することが出来る。 4. 観光産業における体系的なマネジメント分析の方法を理解し、更には課題について解決のためのアプローチを考えることが出来る。 <p><アクティブ・ラーニング要素></p> <p>講義内において取り扱う各テーマについてグループディスカッションを行う。また最終講義日にはグループプロジェクトの発表を行う。</p> <p><講義計画></p> <p>1 回目：観光産業へのイントロダクション①（担当：赤堀） ・要点：観光産業の現状と課題について</p> <p>2 回目：観光産業へのイントロダクション②（担当：赤堀） ・要点：各業界別トレンドについて（旅行業界）</p> <p>3 回目：観光産業へのイントロダクション③（担当：赤堀） ・要点：各業界別トレンドについて（宿泊業界）</p>				

4 回目：観光立国政策と地方創生①（担当：高井）

- ・要点：観光が地域にもたらす各種の影響について-世界遺産を通して考える

5 回目：観光立国政策と地方創生②（担当：高井）

- ・要点：これまでの観光立国政策の成果と残された課題

6 回目：グローバル化・多様性受容社会と観光（担当：高井）

- ・要点：観光をとおして「地域を開く」ということ

7 回目：インバウンド産業概論①（担当：赤堀）

- ・要点：インバウンドの現状と課題について（国の視点）

8 回目：インバウンド産業概論②（担当：赤堀）

- ・要点：インバウンドの現状と課題について（地域の視点）

9 回目：インバウンド産業概論③（担当：赤堀）

- ・要点：インバウンドの現状と課題について（訪日客の視点）

10 回目：インバウンドビジネスマネジメントスタディ①（担当：赤堀）

- ・要点：インバウンドビジネスの導入ステップと改善サイクル

11 回目：インバウンドビジネスマネジメントスタディ②（担当：赤堀）

- ・要点：ケーススタディ（ビジネス客向けの観光サービス）

12 回目：インバウンドビジネスマネジメントスタディ③（担当：赤堀）

- ・要点：先進事例スタディ

13 回目：受講生によるプレゼンテーションと講評（担当：高井・赤堀）

- ・要点：グループプロジェクトの発表（インバウンド観光商品の提案）

14 回目：受講生によるプレゼンテーションと講評（担当：高井・赤堀）

- ・要点：グループプロジェクトの発表（インバウンド観光商品の提案）

15 回目：受講生によるプレゼンテーションと講評（担当：高井・赤堀）

- ・要点：グループプロジェクトの発表（インバウンド観光商品の提案）

<講義の進め方>

講義とケーススタディを組み合わせる。ケーススタディではグループ討論および全体討論を行います。

<事前事後学修内容>

都度の講義に関連したリサーチやミニレポート等の事前課題を付与します。詳細は講義時に指示致します。事前に配布する資料を必ず読んでから講義に参加してください。

<予習・復習時間>

各回の予習・復習には計4時間相当かかると想定され、詳細については講義時に指示します。

<教科書及び教材>

訪日観光の教科書（高井典子・赤堀浩一郎著、創成社）

<参考書>

適宜講義内で紹介します。

<成績評価方法>

期末個人レポート 40%（20%×2）、期末グループプロジェクト 30%、事前課題 20%（10%×2）、講義への貢献度 10%（講義中の発言、討論への貢献度、コメントカードの内容の総合評価）

欠席 6 回以上は成績評価しない。

<課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法>

事前課題ならびに期末プレゼンテーションは、各講義中に全体のフィードバックを行う。

<履修条件>

多くのケース資料をしっかりと読み込んで、毎回、講義中に積極的に発言を行うこと。

<DVDによる視聴> 可

<オフィスアワー>

非常勤のため随時 e-mail にて連絡下さい。期末プレゼン等全般については赤堀まで連絡下さい。

<その他>

毎回の講義でグループおよびクラス討論を行いますので積極的な姿勢で講義に臨んで下さい。また、期末プレゼンテーションならびにレポートにそなえて日々関連する経済記事をチェックするように心がけてください。

※11月 14日(土) 2限、3限、4限

11月 28日(土) 2限、3限、4限

12月 12日(土) 2限、3限、4限

1月 9日(土) 2限、3限、4限

1月 23日(土) 2限、3限、4限